

# 寄せられた意見

No. 133

受付日	H18. 5. 23	年齢	44歳	居住 市町村名	中川町
件名	サンルダム早期着工を願って				

平成18年5月23日

サンルダム早期着工を願って

中川町

44歳

中川町は天塩川流域に位置し、天塩川とは密接な関わりを持って営まれている町です。過去、天塩川の氾濫による農地の冠水、橋の倒壊により交通が遮断される事も起きました。幸いにして、河川整備がなされ過去に起きたような大災害は起きてはいませんが、先日の降雨（5月11日～12日）と雪解け水が重なり警戒水位を超え、いつにない恐怖にも似た不安な気持ちで生活する経験をしました。

実際、中川町ではパークゴルフ場が冠水し使用不能となり、その後の整備に予想外の経費がかかっているようです。美深町、音威子府村では、農地が一部冠水し、下川町では家屋が浸水したとも聞いています。このような被害は小さいことかもしれませんが、天塩川流域に生活する私たちは、このような災害による危険と経済的負担と背中合わせで暮らしているのです。また、最近では世界的な異常気象によりいつ大災害が起きてもおかしくない状況であるともいえます。

天塩川の水位が、年間を通して一定したものとなるよう、また、食糧基地の基礎である農地を守るためにも、サンルダムが必要ではないかと考えます。

天塩川は、以前よりも水鳥が多くなりました。餌となる魚やエビなどが増えた証拠ではないでしょうか。また、カヌーで川下りをする人も増えてきました。特に音威子府中川間の景観は四季を通して絶景といえます。

でも、災害が起きるとこの自然も破壊されてしまうのではないのでしょうか？また、復旧するための費用も莫大であり、元に戻るためには長い期間がかかるのではないのでしょうか？

天塩川流域に生活する住民が安心して暮らせ、天塩川を楽しむためにもサンルダムの早期着工・完成を願ってやみません。

※ [ ] 箇所は、個人情報等に該当するため黒塗りしています